

群馬の畜産 みんなの情報室

第327号

発行日
平成28年1月31日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 6階/TEL:027-220-2371(代) FAX:027-220-2372
ホームページ:http://www.chikusankyokai.or.jp

年頭のご挨拶



公益社団法人 群馬県畜産協会
会長 大澤 憲一

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、すこやかな新春を迎えられたことと、お慶びを申し上げます。

また、平素から、本会が実施しております、各種事業につきまして、ご支援、ご協力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨年の畜産情勢を振り返りますと、畜産物価格が堅調に推移したことから、畜産経営も比較的安定した状況が続いたと思われまます。しかし、配合飼料価格や輸入粗飼料などの価格は円安の影響などで高値が続いております。加えて、昨年10月にはTPP交渉が大筋合意にいたるなど、畜産業にとっては先行き大きな不安材料が生じてきています。

ご承知のとおり、本県の畜産は、平成26年の産出額で1,040億円と県農業産出額の44.5%を占める基幹部門として群馬県農業の牽引役となっています。

今後も群馬県の畜産が維持・発展していくためには、安全・安心な畜産物の生産はもちろんのこと、消費者が食べてみたいと思う食肉、鶏卵、ハチミツ等を作り出すとともに、今まで以上に飼養技術の向上、生産コストの削減等に取り組む必要があると考えます。

一方、前橋市が平成17年から始めた「TONTON(とんとん)のまちまえばし」の取り組みや、群馬県が平成26年に行った「すき焼き応援県」宣言、上州地鶏を支援するクラウドファンディングなど、畜産を応援する取り組みも県内各地で立ち上がっています。

また、全国に先駆けてEU(ヨーロッパ連合)に輸出された上州和牛も、年々海外への輸出量を増やすなど、明るい材料も生まれてきております。

本協会としては今年も、安定的な畜産経営を継続するための経営支援をはじめ、家畜・畜産物の価格安定対策、家畜や農場の衛生対策、消費者ニーズである安全な畜産物を提供する生産衛生の推進、畜産応援団を確保するための理解増進、畜産経営の人材確保など、畜産協会としての役割が十分に発揮できるように、関係各位との連携の下に全力で各種事業に取り組んで参りたいと存じます。

平成28年が群馬県の畜産にとって飛躍の年となるよう願うとともに、本会が実施しております各種畜産振興関連事業に対しまして、皆様方からの一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。年頭にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

目次

◎年頭のご挨拶.....	1	◎県内初！酪農ヘルパー利用組合を活用した第三者継承による新規参入者が酪農経営を開始！.....	5
◎理事会の開催.....	2	◎価格安定支援の各事業の実施状況.....	6
◆畜産振興部より.....	2	◆企画管理部より.....	7
◎第14回全日本ホルスタイン共進会が開催.....	2	◎川場村・川田牧場で酪農体験!!.....	7
◎第19回群馬県共進会(繁殖和牛の部・乳牛の部)が開催.....	3	◎群馬畜産フェアを開催.....	8
◆業務部より.....	5	◎南関東4競馬開催日程.....	8

理事会の開催

平成27年11月20日（金）群馬県 JA ビルにおいて本会理事会が開催され、平成27年度変更事業計画及び補正予算などについて協議されました。決議事項、報告事項は次のとおりです。

決定事項

第1号議案 平成27年度変更事業計画及び補正予算の承認について

第2号議案 規定の制定及び変更について

第3号議案 群馬県優良和牛遺伝子保留基金の廃止と残額の家畜改良積立金への繰り入れについて

第4号議案 事業内容の変更と変更認定の申請について

報告事項

職務執行状況報告など

畜産振興部より

第14回 全日本ホルスタイン共進会 ～ 北海道大会 ～ が開催！！

平成27年10月23日（金）～26日（月）に、第14回全日本ホルスタイン共進会・北海道勇払郡安平町が開催されました。



全日本ホルスタイン共進会・出場者の皆様

	名号	出品者	成績
第1部	ナカコー プライド R スプラッシュ レアル	中之条高等学校	1等賞7席
第1部	ハーバート ION アリエツティ	三輪 圭吾	1等賞6席
第2部	KCF スパークリング ポリヴァー	(有)KC牧場	1等賞4席
第4部	フロンティア ブラッディー ローラ ET	石原 玄明	1等賞4席
第5部	KCF フラクストン ピスタ リー	(有)KC牧場	優等賞5席
第7部	ブルーエンゼル ゴチグレス	(有)萩原牧場	1等賞7席
第10部	ゴッドフレイ ラティチュード ローズ	三輪 圭吾	1等賞2席
第12部	KCF スプリング セレナ	(有)KC牧場	優等賞6席

第13回大会が口蹄疫や東日本大震災等の影響で中止となったため、10年ぶりの開催となった本大会には、ホルスタイン種344頭、ジャージー種30頭、計374頭が出品されました。

群馬県からは12頭の代表牛が出品され、優等賞2頭、1等賞6頭、2等賞4頭、1等賞以上の入賞率67%という素晴らしい成績を収めました。日頃の改良の成果は勿論のこと、出品者や関係者が『チーム群馬』として纏まり努力した結果だと思われまます。なお、1等賞以上の結果は右の通りです。

次回は5年後に宮崎県で開催される予定です。
皆様のご支援をよろしくお願い致します。

《参加生徒の感想》

当大会には、中之条高校から出品牛4頭、生徒6名、職員2名が出場しました。中之条高校の「ホルスタイン部」は、共進会への出品を目指して、生徒主体で活動をしています。

◎角田 紗也佳さん（生物生産科3年）

（ナカコー プライド R スプラッシュ レアル号のリードマン）

私は、群馬県の代表として、この大会に参加しました。第1部審査前は、上手くリードできるか心配でとても緊張してしまいました。周囲の友達や県内の酪農家さんから「楽しんできなよ」と励まされ、入場する直前には緊張がほぐれ、審査中はリードに集中できました。審査の途中、序列が17位でしたが、練習を思い出しよく見せるように努力しました。そのため、審査終了時には13位とランクアップうれしく思いました。しかし、名誉賞の北海道の出品牛は、大きさからレアル号と違い、嬉しい反面、悔しく感じました。

私は、将来、酪農関係の仕事に従事したいと考えています。この経験をいかし、5年後の宮崎大会に参加し貢献したいと思います。

この大会を通して、本校のOBをはじめとする指導・支援してくれた方々のお蔭でこのような貴重な体験ができたと思います。本当にありがとうございました。



レアル号とリードマン・角田さん

◎鈴木 莉緒さん（生物生産科3年）

（高校生リードマンコンテスト参加者）

10月23日に実施された高校生リードマンコンテストに私は参加しました。

9月に実施されたこの大会の県予選会で上手にリードできなかつたため、本番で失敗しないか非常に心配でした。高校生リードマンコンテスト本番、自分の思うようなリードはできませんでしたが、1年生から活動してきた経験から、うまくカバーできました。しかし、私自身が納得いかない結果のため、もう一度、挑戦したいと強く感じました。

私の家は、高山村で酪農業を営んでいます。高校卒業後は、専門的な知識や技術を学びに大学進学を考えています。その後、酪農業に携わり、いつの日か自分の育てたウシを全共に参加させたいです。

最後に、これまで私たちを指導・助言し支えてくれた皆様にこの場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。



リードマンコンテストの様子

夢や目標に向かって進まれる皆さんの今後のご活躍を期待するとともに、本会も実施事業等を通じて応援していきたいと思っております！！

第19回群馬県共進会（繁殖和牛の部・乳牛の部）が開催！

乳牛の部

11月16日（月）に群馬県畜産試験場において、第19回群馬県畜産共進会（乳牛の部）を開催しました。出品頭数は67頭でした。審査委員として（一社）家畜改良事業団・高野みなを場長をお招きし、一般社団法人日本ホルスタイン登録協会の審査標準に基づいた審査が行われました。

未經産牛は、全体的に発育良好で若々しく、飼養管理技術および改良のレベルが向上していることが

窺えました。経産牛も全体的な発育が良好でバランスがよく、乳用強健性に富み、特に乳器については素晴らしい牛が数多く出品されました。

名誉賞には、未經産の部では、リスペクト ION ハニー（みどり市・三輪圭吾氏飼養）、経産の部ではゴールド R アイオーン ペト（桐生市・千本木裕氏飼養）が選出され、農林水産大臣賞に千本木裕氏が選出されました。結果は次項のとおりです。

	名号	出品者	備考
第1部	ミルキーウェイ ジェット ジェシック	松井 茂樹	
第2部	ナカコー プライド バーピング ハピネス	中之条高校	
第3部	ナカコー L ミラン	中之条高校	
第4部	リスペクト GC デュボン マックスET	三輪 圭吾	
第5部	リスペクト ION ハニー	三輪 圭吾	名誉賞
第6部	ブルーエンゼル アットウッド エルシー ET	侷萩原牧場	
第7部	ブルーエンゼル アットウッド ロディ	侷萩原牧場	
第8部	ゴールドリンク R アイオン ペト	千本木 裕	名誉賞 大臣賞
第9部	ブルーエンゼル ロス ジョアニー	侷萩原牧場	



【乳牛の部】
第8部名誉賞、農林水産大臣賞
ゴールドリンク R アイオン ペト
千本木 裕



【繁殖和牛の部】
第5部名誉賞、農林水産大臣賞 しらね62029
高島 大明

繁殖和牛の部

11月18日(水)に群馬県畜産試験場において、第19回群馬県畜産共進会(繁殖和牛の部)を開催しました。

出品頭数は47頭、親子群1組、雌牛群2組でした。審査委員として(公社)全国和牛登録協会・菅野成厚参与をお招きし、同協会の審査標準に基づき、審査が行われました。

未経産牛は、発育の良い牛が多くみられましたが、過肥過大な牛も散見されました。将来性という点で、素晴らしい牛が多かったように思われます。

経産牛も全体的に発育良好で、肋の張りや体の幅など中躯が充実している牛が多くみられました。未経産・経産の部のどちらにおいても、手入れを含む事前準備が足りない出品牛が多かったように思われました。

名誉賞には、しらね62029(嬭恋村・高島大明氏飼養)が選出され、農林水産大臣賞にも同氏が選出されました。結果は右のとおりです。

	名号	出品者	備考
第1部	すみよし883	阿久澤 裕一	
第2部	ひのざくら722	片野 嘉平	
第3部	たけい26の2	大淵 一	
第4部	ふくしげやす	小柴 永生	
第5部	しらね62029	高島 大明	名誉賞 大臣賞
第6部	めぐみ	宮崎 太良	
第7部	ひのざくら72・ひのざくら722	片野 嘉平	
第8部	ともこ2・たけい18の9・たけい16の21	吉野 利保 武井 賢一	

肉用牛合同研修会を開催します

- ◎主催 (公社) 群馬県畜産協会、(一社) 家畜改良事業団前橋種雄牛センター、全国農業協同組合連合会群馬県本部、群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会、群馬県 JA 繁殖和牛部連絡協議会、群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ◎日時 平成28年3月4日(金) 10:00 ~ 15:45 (受付9:30 ~)
- ◎場所 群馬県 JA ビル 大ホール
- ◎内容 第1部 (情報提供) 畜産協会、事業団、全農
第2部 (講演会)
講師 KAPEO 木村畜産技術士事務所 代表 木村 信熙 氏
第3部 (講演会)
講師 有限会社 北国肉牛商事 代表 小野 健一 氏
- ◎参加費 1人 1000円
- ◎締切 平成28年2月24日(水)
- ◎問い合わせ (公社) 群馬県畜産協会まで (TEL: 027-220-2360, FAX: 027-220-2372)

業務部より



県内初! 酪農ヘルパー利用組合を活用した
第三者継承による新規参加者が酪農経営を開始!



取り組みの背景

本県の酪農家戸数は、平成7(1995)年に1,560戸でしたが、約20年後の平成26(2014)年では、625戸(農水省農林統計)となり、平成27年には581戸まで減少を続けています。



J A利根沼田は、平成24年度当時、組合員の離農や廃業が進む中、離農・廃業等を検討している農家の経営資産を第三者に譲渡し、組合員数や取扱高を維持できないか、と対策を模索されました。

同時期に、当協会は、県単事業により、円滑に経営継承を進めるための支援体制「畜産経営継承支援システム」の構築に取り組んでいたため、本県第1号の取組事例として、J A利根沼田のご協力をいただきながらシステム構築を執り進めてきました。

技術習得中の事故に備える仕組み

畜産は、耕種系の農業とは異なり、大型の作業機や家畜を扱う機会が多くあります。

「畜産経営継承支援システム」の最大のポイントは、技術のない継承希望者が、円滑かつ安全に技術取得ができるよう「酪農ヘルパー利用組合(以下、利用組合という。)」が継承希望者の人材育成を行う仕組みにあります。

利用組合は、継承希望者を酪農ヘルパー要員として雇用し、営農のための技術習得研修と出役を平行して実施します。これにより、移譲希望農家の技術指導中の事故等に対する対応や、手当等の支払いに係る金銭的負担の軽減、早期の地域への順応を図ったものです。

生産者が生産者を育てる

生産者には、長い期間で培われた知識と経験があります。概ね2年間で技術移転を果たし、自らの技術を確立するためには、より多くの生産者との関わりが必要となります。

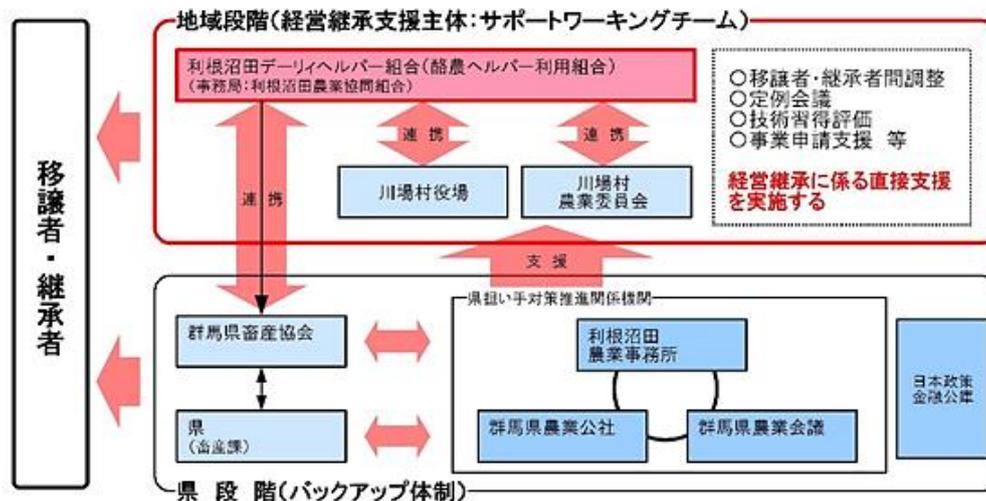
移譲希望農家の指導だけでなく、出役を通じて、利用組合に参加する組合員との人脈づくりから得られる人間関係など、いわば、利用組合がインキュベーター(起業支援機関)となり、生産者が将来の仲間を育てる仕組みも「畜産経営継承システム」の特徴です。

経営継承をサポートするチームを作る

後継者の新規就農とは異なり、非農家の新規参入には、生産技術、経営技術、人脈などの無形資産のほか、農地、家畜、施設設備の有形資産、これらを取得するための資金調達など、多岐にわたる条件等を整える必要があります。この高いハードルに、さらに営農資産を第三者に継承させるための移譲希望農家と継承者との関係が加わるため、利用組合やJAだけで非農家の就農希望者を新規参入させることは非常に困難です。

「畜産経営継承システム」では、利用組合やJAの経営継承への取組みに対する負担の軽減を図り、継承者の条件整備等を円滑に進めるため、関係機関のご協力のもと、

- 1 市町村、農業委員会、農協、県農業事務所、利用組合等を経営継承推進主体とする「経営継承ワーキングサポートチーム」を設立
- 2 「経営継承ワーキングサポートチーム」に、県段階機関（県畜産課、農業公社、農業会議、公庫、畜産協会）等によるバックアップ体制を構築しました。いわば、経営継承を支援する各分野の専門家集団を形成し、経営継承で発生する様々な課題や問題の解決に当たる体制作り、環境整備を図りました。



終わりに

経営継承は、経営資産の大きな「畜産」の有効な就農手段として全国的に徐々に定着しつつあります。

畜産業の維持発展のために、意欲があり、新たに

に農業を目指す方が、「畜産」という職業を選択し、円滑に経営開始ができるよう、取組みを拡大していきたいと思ひます。

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）

対象期間	品種区分	通常		生産者積立金免除牛		交付金額 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
		頭数(頭)	交付単価(円)	頭数(頭)	交付単価(円)			
平成27年7月期 精算	肉専用種	-	-	-	-	-	-	概算払 9/25 精算払 11/25
	交雑種	1,120	18,500	-	-	20,720,000	110	
	乳用種	-	-	-	-	-	-	
	計	1,120				20,720,000	110	
平成27年8月期 精算	肉専用種	-	-	-	-	-	-	交付なし
	交雑種	-	-	-	-	-	-	
	乳用種	-	-	-	-	-	-	
	計	-				-	-	

対象期間	品種区分	通常		生産者積立金免除牛		交付金額 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
		頭数(頭)	交付単価(円)	頭数(頭)	交付単価(円)			
平成27年9月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	確定払 11/25
	交雑種	1,052	2,300	-	-	2,419,600	124	
	乳用種	-	-	-	-	-	-	
	計	1,052		0		2,419,600	124	
平成27年10月期 概算	肉専用種	-	-	-	-	-	-	交付なし
	交雑種	-	-	-	-	-	-	
	乳用種	-	-	-	-	-	-	
	計	-		-		-	-	
平成27年11月期 概算	肉専用種	-	-	-	-	-	-	交付なし
	交雑種	-	-	-	-	-	-	
	乳用種	-	-	-	-	-	-	
	計	-		-		-	-	
合計	肉専用種	-		-		-	-	
	交雑種	2,172		-		23,139,600	234	
	乳用種	-		-		-	-	
	計	2,172		-		23,139,600	234	

- 肉用子牛生産者補給金制度
- 肉用牛繁殖経営支援事業

■養豚経営安定対策事業

対象期間	交付日
平成27年7～9月期	交付なし

対象期間	交付日
平成27年4月～27年12月期	交付なし

企画管理部より

川場村・川田牧場で酪農体験！！

11月22日(日)、川場村・川田牧場において、川田牧場様((一社)中央酪農会議・酪農ファーム認証取得)、JA利根沼田様、コープぐんま様のご協力により、今年度第2回目の牧場体験交流を開催しました。

県内の消費者など37名が、生乳を生産している現場で、牧場長・川田さんから酪農の話聞き、前日に生まれたばかりの子牛を見たり、牛の心音を聞いたり、搾乳体験をしたりしました。

体験の最後には、地元で生産された牛乳を使った黒糖入りホットミルクで、ほっこり温まりました。

体験を通して「牛の一生について初めて考えるきっかけになった」「牛の赤ちゃんの大切なおっぱいを分けてもらっているということに気付かされた」「生産者や牛に対する思いが変わり…消費者ができることで応援したい」といった感想をいただきました。

県内の酪農家戸数が減少傾向にあります。そうした中で、川田牧場様は、日々の消費活動で農畜産業に携わる消費者の生産現場への理解を深めることが大切だという思いもあり、当体験にも協力してくださっています。

本会でも、畜産の振興の一助となるよう、今後も生産者と消費者の交流の場である牧場体験を企画していきたいと考えています。



川田さんの酪農のお話を聞く
参加者の皆様



搾乳体験



牛に触って

命の温もりを感じました。

群馬畜産フェアを開催

12月1日、浦和競馬場において「ぐんま畜産フェア」を開催しました。来場者先着800名に、一口チーズ（東毛酪農「酪農組」）を配布したほか、高崎ハムの「お楽しみ袋」を販売し、多くの競馬愛好者で賑わいました。

また、当日は、競馬のレースに「上州和牛賞」、「東毛酪農63℃賞」、「J A高崎ハム賞」、「群馬県畜産協会長賞」の冠名をつけて勝者に副賞を授与する「冠レース」を各団体の御協力のもとに4レース開催し、浦和競馬場は群馬県の畜産一色となりました。

なお、このイベントは毎年実施しています。冠レースを実施する希望がありましたら、ぜひ本会までご連絡ください。



地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

◆BAOO高崎

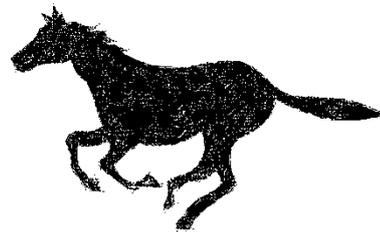
群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192

旧高崎競馬場跡地を利用した場外馬券売り場
開催日には、高崎駅東口から無料シャトルバスを運行

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階・5階
お問合せ：0270-23-0535

オートレース場内のモニターで
ゆったりと競馬を楽しめます



地方競馬 場外発売日程

🌙 ナイター 🌅 薄暮開催

2016年 2月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井	大井	大井			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井			川崎

2016年 3月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
川崎	川崎	川崎	川崎			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井				浦和	浦和	浦和	浦和			川崎	川崎	川崎	川崎

詳しくは南関東4競馬サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください。



「群馬の畜産 みんなの情報室」をお読みいただき、ありがとうございます。1月18日未明から降り始めた雪は、昼には止んだものの、広い地域で積り、事故や交通機関の麻痺を引き起こしました。一昨年の大雪とは比べべくもないものでしたが、自然災害については再認識し、万全の対策を立てておくことが大切ではないかと改めて考えさせられました。かく言う筆者は、事前準備がほとんどなかったため、駐車場から自動車を出すのに15分もかかってしまいました。備えあれば憂いなし。皆さんもどうぞお気を付けてください。

「群馬の畜産 みんなの情報室」をお読みいただき、ありがとうございます。1月18日未明から降り始めた雪は、昼には止んだものの、広い地域で積り、事故や交通機関の麻痺を引き起こしました。一昨年の大雪とは比べべくもないものでしたが、自然災害については再認識し、万全の対策を立てておくことが大切ではないかと改めて考えさせられました。かく言う筆者は、事前準備がほとんどなかったため、駐車場から自動車を出すのに15分もかかってしまいました。備えあれば憂いなし。皆さんもどうぞお気を付けてください。

編集後記